

令和5年度第1回一関市自死対策推進協議会 会議録

1 会議名 令和5年度第1回一関市自死対策推進協議会

2 開催日時 令和5年10月25日（水）午後2時から午後3時まで

3 開催場所 一関保健センター 多目的ホール

4 出席者

(1) 委員 秋保茂樹委員（会長）、阿部信一委員（副会長）、
橋本和彦委員、小野寺佳美委員、千葉京子委員、小野寺一喜委員、
金野真由美委員、眞島繁明委員、船山賢治委員、田中敏彦委員、
福山芳伸委員、佐々木承子委員、千田アヤ子委員、吉田直樹委員、
千葉憲一委員、久保木賢委員

(2) 事務局 鈴木伸一健康こども部長、松田京士健康こども部次長兼健康づくり課長、
佐藤恵美健康づくり課長補佐兼健康増進係長、
熊谷美鈴健康づくり課保健主任主査、菊地絵理子健康づくり課主査、
畠山陽介健康づくり課保健師

※ 代理出席 及川夏子委員（代理：佐藤真紀子氏）、菅原ゆかり委員（代理：竹内泉氏）、高橋恵委員（代理：金野智里氏）

5 議題

(1) 自死の状況について

(2) 第2次一関市自死対策推進計画の策定について

(3) 第2次一関市自死対策推進計画の素案について

6 公開、非公開の別 公開

7 傍聴者 1人

8 会長挨拶

ご苦労様です。市内で精神科診療をやっております。国が自殺対策を始めてから20年くらいたったのかなと思いますが、自殺対策というとなんとなくつかみどころがない、どのようにしたらよいかわからないと思われると思いますが、1万人に2から3人という数は、誰もが経験するという人数ではありませんが、誰しも経験する可能性があるということでもあって、つかみどころがないと感じると思います。

当初、国も、20年前に対策を考えて、うつ状態の人を早期発見、早期治療すれば自死を減らせるのではないかと、という形で対策が取られました。抗うつ薬がたくさん使われたのですが、残念ながら自死は減らなかったのです。そのうちに、自殺者数が3万人を超え、その後、景気の改善というか、3万人を割るようになって、そのときにわかって

きたのが失業率と自殺率が非常に関連して動くということです。結局、働き盛りの男性が多かったので、働き盛りの男性が一番悩んでいる問題は仕事だったということとなります。

最近では、幸いなことに、当地方はそういう傾向はみられていないようですが、本来自殺死亡率の低い30代、20代、10代の世代がじわじわと上がってきているということが国の問題になっているところです。コロナの感染が広がり、戦争が起き、世界的にも経済状態が見通せない状況で、自殺が増えてきてしまうのではないかと危惧される場所でもあります。今日の協議会では、会議を開くこと自体がもしかすると自殺予防に役に立つのではないかと思います。活発なご意見をお願いしたいと思います。今日は、よろしく願いいたします。

9 報 告

自死の状況について

資料に基づき事務局から報告を行った。以下、質疑応答等。

会 長 質問というわけではないが、資料No.1の4ページの5③自死の特徴の部分、自死者の特徴上位5区分の背景にある主な自死の危機経路について、これが非常に参考になると思う。自死の要因としては、健康問題が1位とよくいわれるが、健康問題は見かけ上というふうにご理解いただければと思う。最終的にはみんな具合が悪くなっていくという形で、本当に狭い意味で病気を苦しめてという方は、実はそう多くないということとなる。最初に失業があつてとか、複数の因子が絡んで自死に至っているということと、警察の統計でも現在は4つの原因となり得るものを上げるということで報告されているということである。

10 協 議

(1) 第2次一関市自死対策推進計画の策定について

資料に基づき事務局から説明を行った。意見等なし。

(2) 第2次一関市自死対策推進計画の素案について

資料に基づき事務局から説明を行った。以下、質疑応答等。

会 長 資料No.3の36ページ(3)ハイリスク者への支援の強化（二次予防）の第2次計画の[現状・課題]の文章で「自死の危険性が高い人は、必要に応じて精神科医療につなぐ必要があります。」とあるが、この部分の順番を入れ替えて、「自死の危険性が高い人は、その人が抱える悩みや背景にある生活の様々な問題に対して包括的に対応する必要があります。また、必要に応じて精神科医療につなぐ必要があります。」とした方がよいと思う。自死の問題は、医療という狭い分野では収まらない問題であるためである。

事務局 ご意見のとおり修正させていただく。

委員 31ページの目標であるが、第2次計画の目標の数値はどのように導いたものか伺う。

事務局 最終の自殺死亡率为15.7としたが、当初の平成28年に自殺死亡率为30%減少させるというところで、前回の計画策定時は、人口動態統計に基づく自殺死亡率から30%減少ということで、15.7を目指すとしていた。今回については、基となる統計を警察庁統計での自殺死亡率としたため、前回計画時とは基礎数値は異なるが、自殺死亡率の目標値は変えずに15.7と設定したところである。これは、平成28年の人口動態統計の自殺死亡率为警察庁統計の自殺死亡率で算出すると、平成28年の自殺死亡率からは38%位の減少率となるため、より高い目標設定としたものである。県の目標値は、自殺死亡率为約30%減少ということで設定していたようなので、県の目標値よりも高い目標設定である。

事務局 補足すると、31ページの中段、令和4年度21.5自死者数24人という現状があるが、これを国の自殺総合対策大綱で目指す30%減少に合わせると、今回の15.7、数でいうと16人にほぼ一致するので、先ほど担当者が申しあげた目標値の設定と二つの両面からこの目標値にさせていただいた、ということである。

会長 目標値の自殺死亡率15.7というのをだいたいヨーロッパの国々と同じくらいとなる。

11 その他

事務局から次回の第2回一関市自死対策推進協議会は、令和6年1月24日午後開催する予定である旨お知らせした。

12 担当課名 健康こども部健康づくり課